

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月26日(土)⑤

担当部局・担当課名: 商工労働部地域産業支援課

事業名	デジタル化相談窓口運営事業	評価結果	不要／抜本的改善／一部改善／現行どおり
------------	---------------	-------------	---------------------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・なぜ委託ではなく、補助なのか。
- ・デジタル化の定義を明確にしないとイケない。
- ・相談が38件というのは少ない。なぜそんなに少ないのか分析はしているのか。
- ・ITベンダーなどで実施されていることではないか。
- ・相談・補助された企業のその後をフォローアップして分析するべき。
- ・成功例を示すなどにより、デジタル化のメリットをPRするべき。

【県民評価者の意見】

- ・デジタル技術を実際に導入して何年間継続したか、何年でどれぐらいの利益が出たかが大事である

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数

13

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
		3	1	3	3
県民評価者の 主なコメント	【行政の関与不要】 ・企業主体ではだめなのか。 ・県内の中小企業の何%がIT化を求めているのか。 【抜本的改善】 ・事業の必要性は認められるが、事業内容が達成手段として有効でない。 【一部改善】 ・もっと広報をしてほしい。 【現行どおり・拡充】 ・県内中小企業の潜在ニーズを把握するために調査が必要であり、その上で行政側から企業にアプローチしていくべき。 ・PR方法を見直すべき。				
	上記以外	【役割分担見直し】 ・市町村が実施するべき。			

【参考】委員による評価

委員総数

4

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
		1	0	2	0

事業名	デジタル化相談窓口運営事業	評価結果	不要/抜本的改善/ 一部改善/現行どおり
------------	---------------	-------------	-------------------------

【県の対応】

今後の 対応方針	一部改善	事業内容見直し			
	○新たな伴走型支援プログラムの実施により、相談・指導体制を強化し、デジタル技術の導入による具体的な成功事例を創出し、県内企業への横展開を図る。				
令和6年度 当初予算 での対応	R6当初予算 (要求額)	12,700(千円)	R5当初予算	12,000(千円)	増減額 700(千円)
	増減理由	伴走型支援プログラムの実施による増			

当初予算編成プロセスの見える化

令和6 年度 当初 予算	要求 状況	要求額	12,700(千円)	前年度予算額	12,000(千円)	
		事業の目的	デジタル化への対応が困難である中小企業を支援し、初期段階の課題解決をサポートすることで、生産性向上や新たな付加価値創出を促進			
		事業内容	(概要) 富山県新世紀産業機構にデジタル化相談窓口を設置し、中小企業等のデジタル化を支援 (実施主体) 富山県新世紀産業機構 (事業内容) ・デジタル化推進統括ディレクター、デジタル化推進コーディネーターの配置 ・伴走型支援プログラムの実施 ・出前講座、指導者派遣等の実施			
		積算内訳	補助金12,700千円			
	予算編成過程における議論		レビューにおける意見を踏まえ、デジタル技術の導入による具体的な成功事例の創出に取り組むなど、適切な見直しが行われている。			
	最終的 な予算 案	予算額	12,700千円			
		要求時点からの変更点	変更なし			